

## ロゴマークの使用条件を満たす代表的な開発・実践例

### NPO法人「信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ」

①  
+  
④  
の  
例

2005年に設立された北アルプスふもとの自然や山のガイド協会である。北アルプスを中心に中部山岳の自然保護やガイド派遣等をおこなっている。山岳地帯の自然・歴史といった地球資源を再認識し、自然の保全と持続的利用を図り、自然を求め訪れる人々との交流を通じて地域の活性化、観光振興に寄与している。**(基準1の①に該当)**

また、国内有数の山岳地帯の厳しく、かつ豊かな自然から、人間と自然とが共存すべき機能を理解するとともに、自然のあり方を考え、環境問題への意識を啓発することを目的とし、次世代のリーダーを育てるために、子どもが野外で自然と接する機会を設ける活動も行っている。**(基準2の④に該当)**



### 乗鞍山麓 五色ヶ原の森と「五色ヶ原の森案内人の会」

②  
+  
④  
の  
例

乗鞍岳は古来より信仰の山として里人に崇拜され、俗人は山へ登ることを禁じられていたが、信仰の山として栄えた頃は、五色ヶ原の森一帯を中心に8カ所の登山道があったといわれている。五色ヶ原の森は自然保護と利用の両立を図るため、入山規制や入山時におけるガイドの同伴、一日当たりの最大利用人数の制限、利用料金制などを高山市の条例で義務付けたネイチャートレイルエリアである。指定管理者である「五色ヶ原の森案内人の会」は、自然そのものと直接触れ合ってきた「森の案内人（認定ガイド）」としての経験を活かし、豊かな自然にとっても特別な場所であり続けられるよう努めている。**(基準1の②に該当)**

また、五色ヶ原の森は自然の循環の中で持続的な保護と利用の両立が図られる仕組みを目指し、整備にあたっては偽木やコンクリートなどを使用せず、現地の倒木や石により整備した歩道や、マイクロ水力発電で発電した電気を使用し、汚水はバイオマス浄化槽で処理し、一切外部に排出しないトイレを備えた山小屋など、自然環境への負荷を最小限に留める配慮を行っている。**(基準2の④に該当)**



### ジェラート&カフェ「GiFT NORIKURA」

③  
+  
④  
の  
例

『乗鞍の恵み・乗鞍からの贈り物。乗鞍の自然の恵みをいただき、乗鞍「愛」を積み重ねながら、乗鞍と共に歩いていけますように』をコンセプトとして、地元で大切に育てられてきた素材を使ったジェラートやスイーツ、乗鞍で焙煎した豆をつかった挽きたてのコーヒーを提供している。それらを食することで地域資源の素晴らしさを体験することができる。**(基準1の③に該当)**

また、次の世代にも豊かさを繋いでいくために店舗で提供するカップやスプーンなどに自然環境に配慮した素材を使用したり、テイクアウト用の再利用ボトルを貸し出し、廃棄物を少なくする取り組みも行っている。また、売り上げの3%は乗鞍の環境整備のために寄付するなど持続可能な地域づくりにも寄与している。

**(基準2の④に該当)**

